

おもしろい紙面



7 ジョン万銀座で死す 東京の研究会「ほぼ特定」

ジョン万銀座で死す



ジョン万次郎終焉の地と目される場所に立つ宝飾店のビル

(東京都中央区銀座2丁目)

東京の終焉の地「ほぼ特定」 研究会

同会は江東区にあった土し、研究を続けている。を過し、「京橋区弓町8佐藩下屋敷に暮らした万次郎 同会によると、万次郎は番地」で亡くなった。現在の功績を地域で伝えてい 下屋敷に暮らした後、長男の中央区銀座に当たるが、こうと2010年に発足の東一郎ら家族と共に晩年 詳しい場所は分かっていな

【東京支社】ジョン万終焉(しゅうえん)の地は銀座の一等地?!。土佐清水市出身で日本の開国に貢献したジョン(中浜)万次郎が亡くなった家のあった位置を、東京都の「ジョン万次郎・江東の会」(落合静男会長)が調べている。中央区銀座2丁目のモダンな宝飾店のビルが立つ場所だと「ほぼ特定できた」としており、12日の命日を前に「晩年の足跡をたどる」として万次郎を広く知ってもらいたい」とアピールしている。(大野泰士)

宝飾店ビル立つ一等地か

調査したのは、医師だった東一郎が創設した日本保険医学会の元会長、塚本宏さん(80)。「中浜東一郎日記」の出版に携わった縁で「江東の会」に入り、昨年からの日記の記述や古い地図を調べている。

塚本さんは、1902(明治35)年発行の銀座周辺の住宅地図で「弓町8番地」を調べ、「岡本武次」一名の土地を発見。岡本は万次郎の最期をみとった医師で、「中浜」には1900年、東一郎が岡本に自宅の売却を相談したとの記述がある。「当時、東一郎は病院の買い取り資金が必要だった状況も分かっており、岡本に住宅を売却したと考えられる」ことから、万次郎が亡くなった場所と判断した。現在の地図に当てはめると、銀座2丁目のランドマークとして知られる宝飾品大手ミキモトのビルが立つ場所。同会は10日に豊島区の霊園で万次郎の墓前祭を行い、「終焉の地」も訪れる予定だ。